

とちぎ夢大地応援団活動報告（平成 29 年 11 月 4 日実施）

佐野市 多田地区「再生農地の刈り払い」

佐野市多田地区の柴田保全会（毛利昭一郎会長）のとちぎ夢大地応援団活動が 11 月 4 日、応援団員 29 名、地元柴田保全会員 7 名の合計 36 名が参加して、再生農地の草刈りを行いました。

旧田沼町の国道 293 号線沿いにある同地区は、5 年前から春秋の年 2 回、柴田保全会員と応援団員が力を合わせて地区内の耕作放棄地の解消に取り組み始め、灌木や雑草が生い茂る約 4ha の放棄地の農地への再生を図ってきました。今年も 5 月に 29 名が参加して 1 回目の応援団活動を実施しました。

この日は、ボランティア団体栃木ナルクの会員 9 名や栃木県農政部の若手職員 8 名を含む夢大地応援団員と地元の人たちとで約 2ha の草刈りや以前に刈った草の集積に汗を流しました。毛利会長は「今年は再生農地活用について一歩前進を図るため、これから花ショウブの球根を植えたり白クローバーの種をまいたりして、ぜひ花を咲かせたい」と交流会の席上で今後の計画を語っていました。



「みなさんの応援は大変ありがたい」開会のあいさつを行う毛利柴田保全会会長（右端）



草刈り隊は、背丈より高く伸びたセイタカアワダチソウやカヤなどと2時間半にわたって格闘



手鎌隊は、ぬかるんだ足場の悪い所で以前に刈られた草の集積作業を行いました



2時間半の作業で約2haの雑草がきれいに刈り払われました



再生農地の一角に植えられる花ショウブの球根と白クローバーの種が入った袋

▼昼食の後、応援団員と地元の人たちと感想などを述べ合う交流会のようす

